



“よねやま”から広がる新しい世界 ⑥ 夢を応援するロータリー



能美 R C
(第 2610 地区 石川県)

カウンセラー
清水 勝彦 さん

姉妹クラブとの交流がきっかけで始まった縁

能美ロータリークラブ (R C) は、1994 年に韓国の釜山南川 R C (第 3660 地区) と姉妹クラブの締結を交わして以来、毎年お互いのクラブを行き来し、親しく交流を続けています。董^{ドンソク}又碩君との縁が始まったのも、この姉妹クラブとの交流会がきっかけでした。

毎年 10 月の観月例会に合わせて、釜山南川 R C から会長、幹事はじめ何人かが訪問するのですが、その際、地元の留学生として通訳のアルバイトに来てくれたのが董君でした。

釜山南川 R C の会員との親睦を深める交流会は、毎回とても盛り上がりますが、董君もフレンドリーな性格で、すっかりその場に溶け込んでいました。会員も皆、彼に好感を持ったことから米山記念奨学金の受験を勧め、そして合格した彼の世話クラブを引き受けることになった時は、大変うれしく思いました。今も、姉妹クラブとの交流に、彼はなくてはならない存在として活躍してくれています。

心を通わせた二人での卓話訪問

私は董君の 2 年目のカウンセラーを務めましたが、彼が学業面で非常に優秀なのはもちろん、サービス精神旺盛で、研究で忙しい中でもクラブや地区、学友会のイベントに進んで参加し、会員との触れ合いを深める機会を大切にしてくれていることに感心しました。

私が地区の米山奨学委員を務めていることもあり、彼とはこれまで奨学期間中と終了後と合わせて 5 回、能

登半島のクラブに卓話に回りました。彼の日本語は私より上手で、しかも自分の研究の話だけでなく、必ず米山記念奨学事業への支援のお願いもしてくれるので、とても助かりました。

能登までの長い道中、彼とはたくさん話をしました。起業がうまくいかないという悩みを聞いたり、結婚を約束した彼女の話の聞いたり。私はもっぱら聞き役で、大したアドバイスもできず、良いカウンセラーではなかったと思いますが、彼は私に何でも話してくれました。

新しい門出にエールを

努力のかいあって、董君は昨年 12 月に目標の博士号を取得したほか、開発したシステムが数々のベンチャーコンテストで最優秀賞に輝くなど、素晴らしい成果を収めました。

また、当地区米山学友会の副会長として、熱心に頑張ってくれています。この春にははいよいよ小松市内で会社を設立するとともに、結婚して公私ともに新しい門出を迎えるという、うれしいニュースも聞いています。

米山の事業に携わる醍醐味はいろいろあると思いますが、このような志ある若者を支え、夢の実現を応援して、彼らの希望に輝く笑顔を見ることが、私にとっては一番の喜びです。これからも懸命に道を進む彼らに、精いっぱいのエールを送り続けたいと思います。



二月例会で董君(左)の博士号取得のお祝い

米山奨学生の中には自らの力を試したいと、起業を目指す人が少なくありません。韓国出身の米山学友、董又碩^{ドンウソク}さんもその一人。彼が在学中に開発した幼稚園・保育園向けの電子連絡帳システムは、石川県内の幼稚園で導入され、コンテストで賞を受賞するなど評価を受けています。夢に向かって走る中で、悩みに寄り添い、助言や協力をしてくれたのがロータリアンだった、と感謝を寄せる董さんと、そのカウンセラーの清水勝彦さんにお話を伺いました。



Dreampharos 代表 / CEO

董 又碩 さん

出身：韓国

奨学期間：2012 - 14

学校名：北陸先端科学技術大学院大学

子どもの役に立てる起業家に

米山奨学生になって、私の人生は大きく変わりました。ロータリーから「時間と約束を大事にすること」「前向きに自分の仕事を果たすこと」「感謝の気持ちで奉仕すること」を学びました。これは、たとえどこに行っても、お金を払っても、学べないことだと思います。

私は子どもが大好きで、子どもの役に立つサービスを提供する起業家になりたいと考えています。ロータリアンの皆さんからは、そのための現実的なアドバイスをたくさんもらいました。ビジネスにおける注意点や問題点、資金調達に関する経験談や顧客管理のノウハウなど、生の声を聞くことができました。また、アドバイスだけではなく、行政やNPOを紹介してくれるといった協力も受けることができました。私が起業に向かって頑張ってきたのは、皆さんのおかげです。これからは、皆さんからの温かい愛情に、私にで

きる形で恩返ししたいと思います。

夢に向かってこれからも挑戦

私が日本への留学と起業を決意したのは10年前、ある難病の診断を受けたことがきっかけでした。医者から「将来は動けなくなる」と告げられた時、同じ病気で入院していた同室の男の子を見て、自分も病気に負けずに頑張る、そうした子どもの役に立ちたいと強く思いました。自分に何ができるかを考え、その知識が得られる環境を求めて日本への留学を決めました。自ら新しい事業を起こし成功したあかつきには、難病の子どもを支援する団体を設立したいと考えています。

今春、日本で会社を設立し、友人と一緒に開発した幼稚園・保育園向けの電子連絡帳システム^{ドリームパラス}の提供を始めます。社名の「Dreampharos」には“夢を照らす灯台”という意味を込めました。まだ、未熟な私ですが、新しいことにどんどん挑戦していきますので、これからも見守っててください。

ロータリー米山記念奨学会事務局

米山記念奨学事業に関するお問い合わせ・ご意見、または“よねやまだより”についてのご意見を、公益財団法人ロータリー米山記念奨学会まで、ぜひお寄せください。

Tel. 03-3434-8681 Fax. 03-3578-8281

Eメール：mail@rotary-yoneyama.or.jp



ベトナムで学友が奉仕活動 —— 児童養護施設に寄付 ——

ベトナム・ホーチミン市で1月18日、米山学友が児童養護施設を訪問し、学友からの寄付金で購入した米150kg、砂糖40kg、インスタントラーメン25箱を寄贈。併せて、第2750地区・東京日本橋RCベトナム交流会有志による絵本が贈られました。参加したチュオン・トゥイ・ランさん（2006-07 / 大宮北東RC）は「私たちの活動は始まったばかりですが、小さなことを積み重ね、大きなことにしていきたいです」と活動への意欲を見せています。ベトナムにはまだ米山学友会はありませんが、ホーチミンでは「学友クラブ」を作って定期的に学友が集まり、活動を開始しているほか、ハノイでも毎月1回、学友の集いが行われています。



食料品や本を児童養護施設に寄付